

産業医大未来構想2040 (概要)

策定の目的・背景

産業医科大学の目的・使命は、「医学及び看護学その他の医療保健技術に関する学問の教育及び研究を行い、労働環境と健康に関する分野におけるこれらの学問の振興と人材の育成に寄与する」旨、寄附行為及び学則に規定。

2004年度から6カ年毎に「中期目標・中期計画」を定め、目標を達成すべく取組を進めているが、本学で学び、働くすべての人々の将来と本学のより良い未来を創造するため、「長期ビジョン」を策定。

産業医大未来構想2040 期間 2021.4~2041.3

産業医科大学は「産業医学の振興と優れた産業医・産業保健専門職の養成、質の向上」を目的とする我が国唯一の大学であり、大学病院は北九州医療圏で唯一の特定機能病院で、最大の病床数を誇る。本学は、このような特色や強みを活かし、永続的に発展していく。

「産業医大未来構想2040」は、開学60年を超える20年後(2040年)の本学の到達点として、本学のあるべき姿・目指すべき姿を学内外に向けて示すものであり、働くすべての人々にとって、より良い未来を創造するための指標となるもの。

全体ビジョン

- 1 社会経済の構造変化に合わせ、課題を的確に把握し、社会から求められる大学、存在感のある大学として、**本学の役割を認識し、永続的に発展する。**
- 2 **本学の強みである産業医学・産業保健に関する知識・経験の蓄積を基盤とした教育、研究、診療の提供により、広く社会に貢献する。**
- 3 産業医学・産業保健と複数分野の協働により、産業医学・産業保健分野において、**世界の中心的な学術拠点であり続ける。**
- 4 すべての教職員が、本学に所属することの誇りを持ち、**次世代の産業医及び産業保健専門職の継続的養成を実践する。**
- 5 **すべての働く人に産業医学・産業保健を届けるための、教育、研究、診療、社会貢献及び大学運営を行う。**

分野別ビジョン

1 教育

社会の成長発展に寄与できる人材、高い倫理観、行動力を備えるなど、人間力のある人材を育成。世界の産業医学・産業保健をリードするプロフェッショナル人材を輩出。

- (1) 産業医学・産業保健を通じて社会に貢献するプロフェッショナル人材の育成
- (2) 医学、看護学、産業衛生学を基に専門分野の卒前、卒後教育の強化
- (3) 日本を代表し世界をリードする産業医学、産業保健教育の拠点の確立
- (4) 新たな教育システムの整備



2 研究

医学及び看護学その他の医療保健分野において、世界をリードする新たな知を創造し、医学・医療に貢献できる研究、産業医学とそれらの融合的研究を推進。更に、本学が産業医学研究の中心拠点となることを目指す。



- (1) 産業医学と他の研究分野との融合発展の推進
- (2) 世界をリードする新たな知の創造と産業医学分野の中心拠点形成
- (3) 産業・社会構造の変化に対応した研究の推進

3 診療

産業医学・産業保健を推進する教育機関、特定機能病院である大学病院と若松病院が共同して、地域社会における基幹病院としてあり続ける。

今後の社会経済構造・疾病構造・就業構造の変化に対応した診療体制を構築。

- (1) 職業関連疾患専門医療機関としての先進的医療の提供
- (2) 特定機能病院としてふさわしい高度で最先端かつ安全な全人的医療の提供
- (3) 地域の人々が安心できる地域基幹病院としての医療体制構築
- (4) 人間愛に満ちた医療人の育成



4 社会貢献



産業医学の知見を国内外に発信し、産業保健の活動を支援。更に、地域社会に信頼される医療機関として、地域の人々の健康増進を図る。

- (1) 我が国における産業保健の推進
- (2) 学術団体及び国際的な産業保健活動への協力
- (3) 地域及び全国における保健医療活動の支援

5 大学運営

本学の永続的な発展に向けて、進むべき方向性を大学構成員全員が共有。少子高齢化、技術革新、産業構造の変化、働き方の多様化及びグローバル化等の社会経済構造の変化に対応し、課題解決を図る大学運営を進める。

- (1) 大学の発展を支える教職員の育成と活力ある組織づくり
- (2) 大学発展のための強固な財政基盤の確立
- (3) 産業医学・産業保健の教育研究拠点及び特定機能病院としてふさわしい施設環境の実現
- (4) 本学の魅力や強みを発信する積極的広報

